

「洲本市まち・ひと・しごと地域創生総合戦略」（骨子案）

～ 「魅力あふれる洲本市」の実現に向けて ～

資料 7

人口ビジョン

【 中長期展望（2060年を想定） 】

I 人口の現状分析

- ・ 総人口の長期推移を見ると、昭和25年にピークを迎えた後、減少傾向となり、昭和50年～60年の10年間は、安定的に推移していたが、その後は再び減少傾向となった。
- ・ 平成21年から25年の自然動態は、年間200人から300人程度の減少傾向にある。
- ・ 平成22年から26年の社会動態は、年間200人から300人程度の減少傾向にある。
- ・ 県内における転入・転出先としては、南あわじ市が最も多い。
- ・ 県外への転入・転出先としては、大阪府が最も多い。
- ・ 出生率は全国平均よりも高いものの、国民希望出生率（1.8）には届いていない。

以上のことから、中長期的に、人口減少は避けられない状況と思われるが、出生率と社会動態の改善が見られれば、将来的な人口減少の緩和、人口構造の高齢化抑制が期待できる。

II 人口の将来展望

1. 推計人口

国立社会保障・人口問題研究所の人口推計によれば、洲本市の2060年の推計人口は、21,036人である。

2. 取り組みの方向性

人口減少の緩和をめざし、以下の取り組みを推進する。

- ①雇用の場を増やし、都市部への人口流出に歯止めをかける
- ②大学進学等で島外へ転出した若者を、再び淡路島へ引き戻す取り組みを進める
- ③地域資源を活用したイベントの開催を通して、洲本市の魅力を大いにアピールし、定住・交流を促す
- ④主に若い世代に対する結婚・妊娠・出産・子育て環境を整える
- ⑤老若男女が安心して安全に暮らせるまちづくりを進める

2060年の目標人口を 人とする

総合戦略（2015年度から2019年度までの5ヶ年）

【 基本目標 】

女性や若者が活躍する
洲本ならではの
「しごと」の
ステージを創る

- ①雇用の場を増やし、都市部への人口流出に歯止めをかける
- ②大学進学等で島外へ転出した若者を、再び淡路島へ引き戻す取り組みを進める

観光や暮らしの魅力を
広く発信し、来訪者、
移住・定住者を
洲本へ呼び込む

- ③地域資源を活用したイベントの開催を通して、洲本市の魅力を大いにアピールし、定住・交流を促す

洲本で出会い、ともに
歩み、未来をつなぐ
「ひと」の夢を
かなえる

- ④主に若い世代に対する結婚・妊娠・出産・子育て環境を整える

魅力的でやすらぎの
ある「わがまち洲本」
を創り守る

- ⑤老若男女が安心して暮らせるまちづくりを進める

【 基本的方向 】

洲本を売り込み、企業誘致を実現させる

新たなビジネスチャンスを拓く起業・創業を支援する

洲本に根差し、培われた産業の未来を拓く活動を支援する

都市圏からの移住・定住促進策を展開する

自然・歴史・文化・観光資源を活かした交流活動を推進する

さまざまな主体との連携を推進し、新たな洲本の魅力を生み出す

出会いの創出や結婚生活のスタートを支援する

妊娠、出産、子育てを切れ目なく支援する

子どもの夢をかなえる活動を支援する

地域の活性化や連携強化の取り組みを支援する

安全・安心で魅力的なまちづくりを推進する

中山間地域を維持・創生する

近隣自治体と連携した経済・生活圏を形成する

【 主な施策・事業と重要業績評価指標（KPI） 】

継続	企業誘致促進事業
新規	インターンシップ助成事業
新規	創業支援事業
新規	新規就農希望者サポート事業
新規	漁業の6次産業化・地産地消促進事業
新規	洲本市ふるさと産品発信事業
新規	エコプロジェクト推進事業
新規	技術のまち・洲本（企業間ネットワーク構築事業、ノーベル賞受賞者招聘事業）
新規	洲本市田舎暮らし応援事業
新規	空き家施設改修支援事業
継続	お帰りなさいPJ（転入世帯定住促進補助・住宅取得奨励金）
継続	すもとマラソン開催事業
継続	レトロなまち歩き
新規	アルファビアPJ、益習館PJ
継続	水産まつり、お城まつり、淡路島まつり、高田屋嘉兵衛まつり
継続	洲本のいいところ発信事業
新規	ロケ地支援（フィルムオフィス活用）事業
継続	域学連携事業
継続	淡路島ロングライド150
新規	つなぐ赤い糸プロデュース事業
継続	お帰りなさいPJ（新婚世帯家賃補助・住宅取得奨励金）
継続	妊婦健康診査費助成事業
継続	お帰りなさいPJ（出産祝金支給事業）
新規	子育てにやさしいまちづくり事業
新規	認定こども園整備
新規	放課後子ども教室・土曜チャレンジ学習事業
継続	子ども医療費助成
継続	アスリートネットワーク事業
継続	すもとっ子∞塾
継続	すもとっ子走育PJ
継続	つながり基金助成事業
継続	洲本市スポーツクラブ21交流会
継続	地区別防災訓練
新規	危険老朽空き家の調査・解体・撤去
継続	有害鳥獣対策の推進
継続	淡路島定住自立圏の形成

詳細は、各専門部会を通して協議します